

「フランス アール・ド・ ヴィーヴル展 2025」 6月24日～26日、東京

スタジオ・マリアンヌ・ゲリー、
「フランス流の暮らしの芸術 2025
– 日本」展に参加
2025年6月24日～26日、
東京日仏学院新館（藤本壮介設計）

比類なきフランスのクラフツマンシップを体現するスタジオ・マリアンヌ・ゲリーは、ビジネスフランス主催の第17回「フランス アール・ド・ヴィーヴル展」に参加し、皆様に紙による芸術のすばらしさを披露できることを誇りに思います。

ペーパーデザイナー、マリアンヌ・ゲリーによって約30年前に設立されたスタジオ・マリアンヌ・ゲリーは、アート、デザイン、クラフトの交差点に位置する特別なスタジオです。紙による演出と詩的な世界の創造に特化し、国際的に高く評価されています。

私たちは、物語や寓話の世界を創造し、人々の想像力を再び呼び起こします。儚いものを彫刻し、永遠の瞬間へと昇華させます。紙という生きた素材は、空間や想像力と対話し、呼吸し、時を止めます。

私たちが最も得意とするのはラグジュアリーの分野です。

極めて小さなものから巨大なものまで、スタジオ・マリアンヌ・ゲリーは、細部と手仕事の繊細さの中に美が宿る、詩的な世界に想いを巡らせ、それを具現化します。私たちの目標は、斬新なコラボレーション、アイコンックなインスタレーションにより、私達のスタジオが常に参考にされる存在となり、美術、デザイン、ラグジュアリーの世界に永遠なる足跡を残すことです。

私たちのスタジオは、「共に創る」という考えを非常に重要かつ不可欠なものと考えています。各作品は、各人が自らのスキルを活かして作り上げた仕事の結晶であり、これらが組み合わせられ完全な作品を創り出します。つまり、作品に関わる全ての人のスキルと卓越性が結集し、一つの作品が生まれるのです。

集団の精神を持つということは、他者の話を聞き、共感し、連帯し、他者との接触や仕事を通じて各々が成長することを深く望み、また何よりも、自分自身よりも企業やチーム、そして他者の利益を優先することです。

Marianne Guély.



2008年以降、ビジネスフランスは、東京、ベルリン、アブダビ、北京、ニューヨーク、シンガポールなど、世界の象徴的な都市で「フランス アール・ド・ヴィーヴル展」を開催しています。「フランス アール・ド・ヴィーヴル展 2025」展は、インテリア装飾、ファッション、化粧品産業を含むフランスの豊かなクラフツマンシップを紹介することを目的とした、招待制のB2Bイベントです。このイベントでは、東京での2日間の展示とネットワーキングイベント、そして大阪万博の共同訪問が行われ、日本のバイヤー、輸入業者、ディストリビューターに向けたユニークなネットワーキングの機会を提供します。

2025年の「フランス アール・ド・ヴィーヴル展」に際し、スタジオ・マリアンヌ・ゲリーは、東京日仏学院の複数の部屋を活用し、アトリエの卓越性と職人たちのインスピレーションから生まれた作品を披露します。

カンファレンスルームでは、全て紙で作られた機械仕掛けの馬が展示されます。これは、2025年パリオリンピックの開会式でセーヌ川を駆け抜けた銀の馬を詩的に再現したものです。

ポエジールームでは、イチョウの葉の森が訪問者を夢のような自然の中へと誘います。また、ブロンドウッドと紙で作られた屏風、細い繊維で刺繍された紙の作品、そしてデザイナーのサイード・ネジムと共同で設計された柔らかな光を放つ2つのアラバスターランプが、この紙の魔法の幻想的な旅を締めくくります。

インスタレーション《イチョウの葉》



Paper embroidery.

48 x 36 x 4 cm.

紙、木



Hope.

Ginkgo leaf.

60 x 48 x 90 cm.

紙、木



Gallop of Fire.

100 x 40cm.

紙



Ikebana.

120cm.

アラバスター、紙



Paper Embroidery -2.

87,5 x 8 x 119 cm.

紙、木



Delicate folding screen.

174 x 4 x 180 cm.

紙、木



Roger lamp.

HISLE - Said Njeim

12,5 x 15 cm.

アラバスター



東京日仏学院

東京日仏学院は、フランスと日本の文化的な架け橋として、1952年に新宿区市ヶ谷に設立されました。

建物は、ル・コルビュジエの弟子であり、日本におけるル・コルビュジエのデザインの推進者である日本の建築家、坂倉準三によって設計され、2021年には、2025年大阪万博の会場デザインプロデューサーである藤本壮介によって新しい施設が建設され、改装されました。

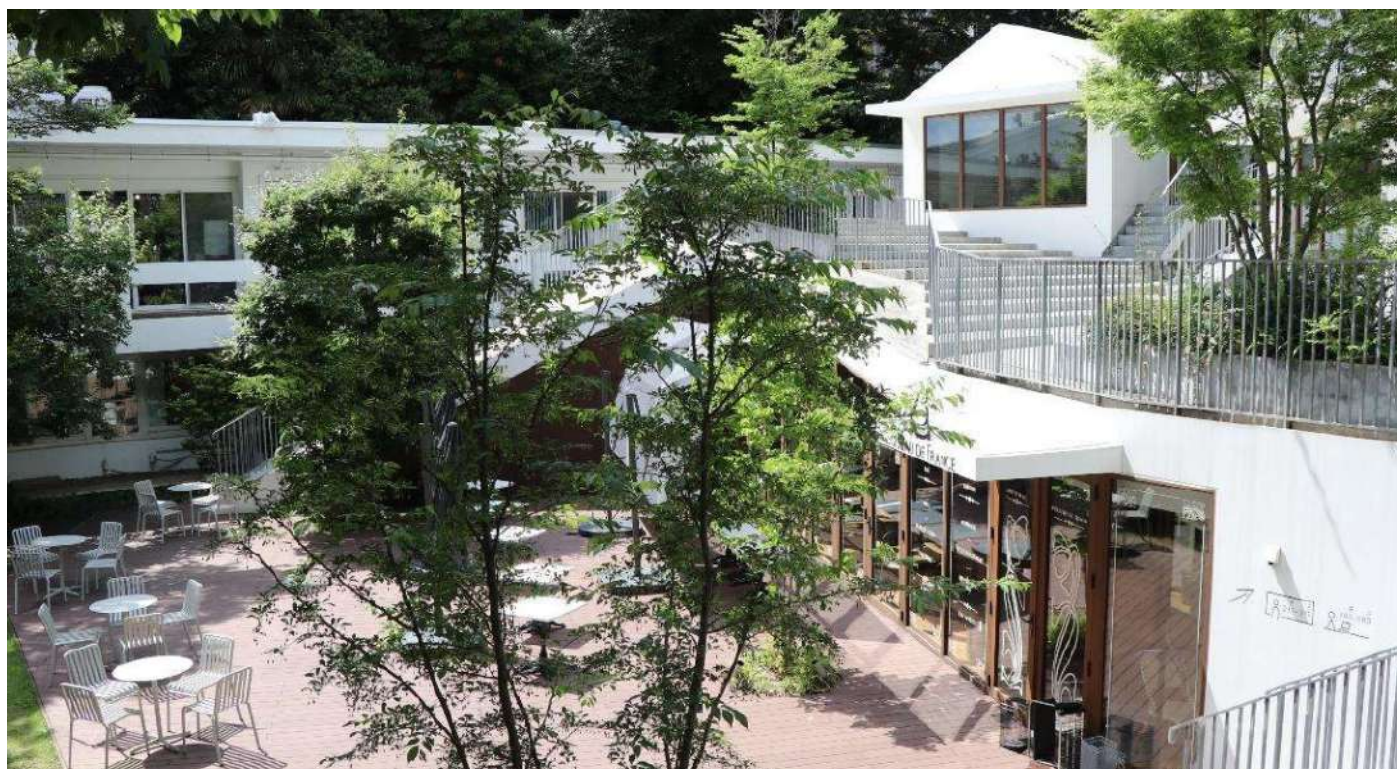
東京の中心に位置するこの学院では、語学コース、文化イベント、著名なアート展、そしてフランス料理レストラン「ロワゾー・ド・フランス」によるサービスを提供しています。

所在地：

〒162-8415

東京都新宿区市谷船河原町15番地

電話：+81(0)3-5206-2500



日本の装飾市場について

装飾市場の規模(2023年):

- ・家具・装飾セクター: 2,240億ユーロ
- ・食器・キッチン用品: 290億ユーロ
- ・ホームテキスタイル: 440億ユーロ
- ・照明: 260億ユーロ (CCI France)

フランス製品の強み:

「フレンチタッチ」の高級製品。

「メイド・イン・フランス」およびフランスのクラフツマンシップ。

独自性、デザイン、色彩、革新的な機能性。

長い歴史や独自性を持つフランスのブランドは、日本の消費者だけでなく国際的に高く評価されています。

SDGsに沿った取り組みを持つ製品は、ますます求められています。

トレンド:

ハイブリッドワークの増加による家庭での快適さの追求。

リビングルームの延長としてのアウトドアリビング (特にHoReCa分野でのテラス拡張)。

革新的でエコフレンドリーな素材。

品質の高い生地を特徴とするホームテキスタイル。



Contact / Communication
Studio Marianne Guély

Yves Mirande
yves@marianne-guely.com
+33 6 62 18 46 90